

日南市公共施設等総合管理計画  
(個別施設計画)

医療施設編

令和2年3月

中部病院 事務局

## 1. 対象施設

平成29年度末現在、病院施設は2施設で、延床面積の合計は7800.52㎡となっております。

| No. | 施設名      | 所在地             | 総床面積<br>(㎡) | 棟数 |
|-----|----------|-----------------|-------------|----|
| 1   | 日南市立中部病院 | 日南市大堂津五丁目10番1号  | 7,338.63    | 1  |
| 2   | 医師官舎     | 日南市大堂津五丁目10番40号 | 461.89      | 1  |
| 合計  |          |                 | 7,800.52    | 2  |

## 2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、見直すものとします。

## 3. 対策の優先順位の考え方

### (1) 施設の役割

中部病院は、公立病院として地域に不足している診療科目を含めた不採算医療、救急医療、在宅医療、健康診断など地域住民へ安全で安心な医療の提供を行う施設です。

また近年は、宮崎大学医学部などと連携して、医学生や研修医の地域医療を学ぶ研修施設としての役割も担っています。

さらに、日南串間医療圏域では、①回復期リハビリテーション医療機能、②在宅医療支援機能、③在宅医療連携拠点機能、④救急医療機能、⑤専門診療機能、⑥公衆衛生活動機能、⑦研修医育成機能の7つの役割を担う病院施設であります。

### (2) 現状と課題

中部病院は、平成11年度に建築された建物で、平成28年10月には、リハビリテーションセンターを増築しております。

病院施設は、3階建てになっており、1階は外来、リハビリテーションセンター、検査室、会計など多岐にわたるため、患者がスムーズに受診（移動）できるよう動線の整備が必要であります。2階と3階につきましては、入院病室となっているため、転落防止のための改修を行う必要があります。

また、中部病院の近くには国道220号線が通っており、更には病院の前にコンビニエンスストアがあるため、受診者の多い日や時間帯によっては、交通が混雑し駐車場内での接触事故の危険性が高くなっております。

医師官舎は、平成10年度に建築された建物で全部で6室となっておりますが、空調設備の老朽化が著しく、改修が必要な状況にあります。

どちらの施設も沿岸に近い中州に立地しており、塩害が進行しているため、空調設備や外壁の改修が必要な時期にきております。

### (3) 今後の施設の考え方

安全で安心な医療が提供できるように、施設設備の危険度、緊急度を十分に考えた維持管理・修繕の中期計画により施設の保全、長寿命化を図ります。

次の基本的事項により施設の維持・管理を行います。

①施設の基本的な保守点検業務を毎年行い、診断結果を整理する。

（数年に1回は、詳細な点検・診断を行う。）

②施設の診断結果を分析し、危険度、緊急度により、改修順位を決定する。

③施設の長寿命化を図るため、民間活力を最大限に利用する。

#### 4. 医療施設の状況等

##### (1) 施設性能

| No. | 施設名      | 建築年度  | 経過年数 | 構造 | 耐用年数 | 残寿命年数<br>(年) | 耐震 |    | 大規模改修 |    |
|-----|----------|-------|------|----|------|--------------|----|----|-------|----|
|     |          |       |      |    |      |              | 診断 | 改修 | 年度    | 改修 |
| 1   | 日南市立中部病院 | H11年度 | 18   | RC | 39   | 21           | 新  | 新  |       |    |
| 2   | 医師官舎     | H10年度 | 19   | RC | 47   | 28           | 新  | 新  |       |    |

(注1)平成29年度末現在の状況について記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造:W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数:耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断:新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修:新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施、不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

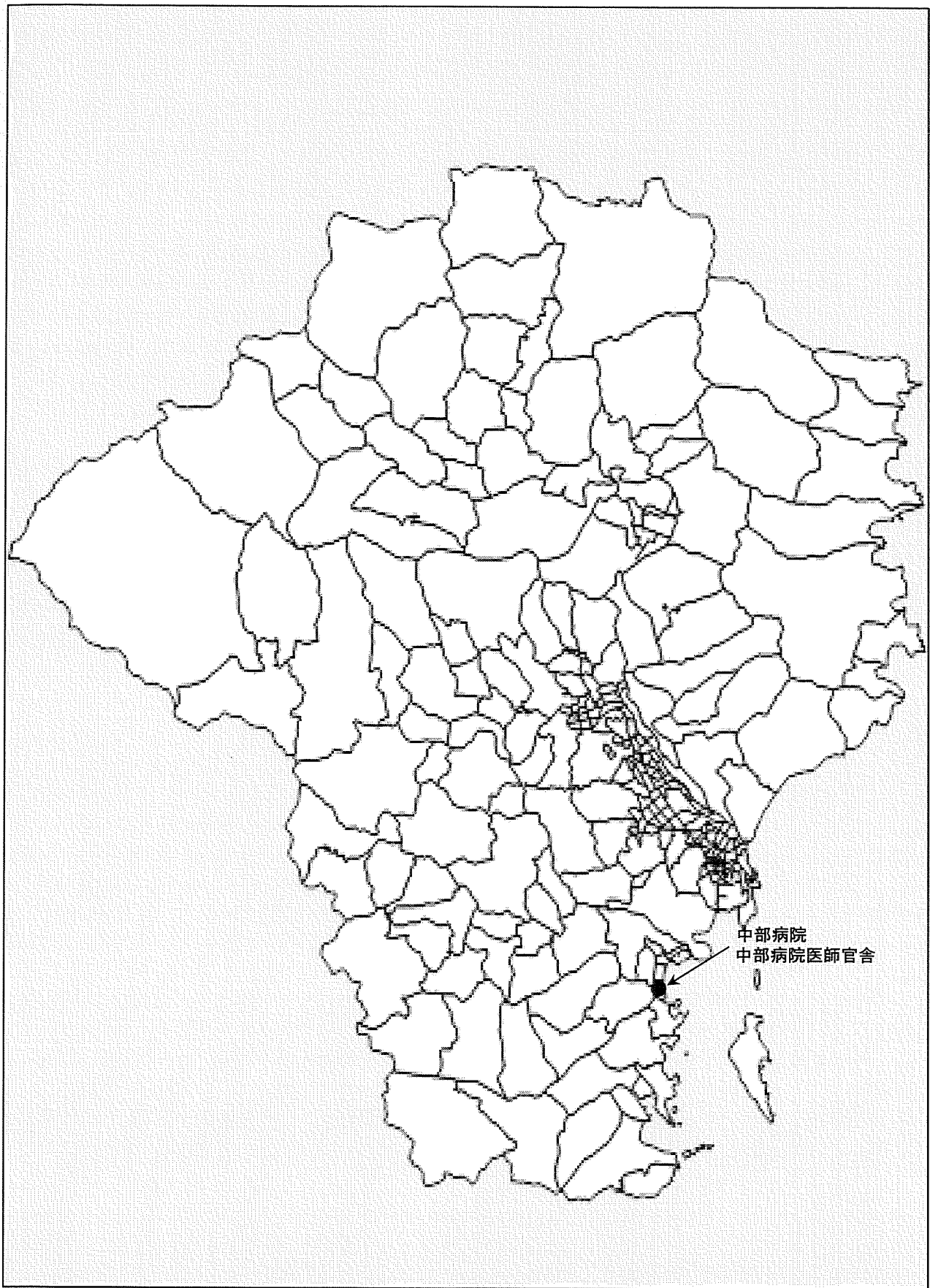
※大規模改修:屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

##### (2) 利用・運営状況

| No. | 施設名      | 総床面積<br>(㎡) | 稼働日数<br>(日) | 利用者数<br>(人) | 年間コスト<br>(円) | ㎡当たりコスト<br>(円) | 1日当たり利用者数(人) |
|-----|----------|-------------|-------------|-------------|--------------|----------------|--------------|
| 1   | 日南市立中部病院 | 7338.64     | 365         | 85,806      | 73,694,370   | 10,042         | 235          |
| 2   | 医師官舎     | 461.89      | 365         | 12          | 1,031,410    | 2,233          | —            |

(注)稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

## 5. 施設配置状況



## 6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

### (1) 今後の方針

| No. | 施設名      | 方針                                  |
|-----|----------|-------------------------------------|
| 1   | 日南市立中部病院 | 維持管理・修繕の中期計画により、施設の改修を行い、保全長寿命化を図る。 |
| 2   | 医師官舎     | 維持管理・修繕の中期計画により、施設の改修を行い、保全長寿命化を図る。 |

### (2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

| No. | 施設名      | 棟名称      | 項目   | 計画期間 |    |    |      |    |    |    |  |
|-----|----------|----------|------|------|----|----|------|----|----|----|--|
|     |          |          |      | R2   | R3 | R4 | R5   | R6 | R7 | R8 |  |
| 1   | 日南市立中部病院 | 診療棟・入院病棟 | 対策内容 | 空調改修 |    |    |      |    |    |    |  |
|     |          |          | 対策費用 | 51   |    |    |      |    |    |    |  |
| 2   | 医師官舎     | 住宅       | 対策内容 |      |    |    | 空調改修 |    |    |    |  |
|     |          |          | 対策費用 |      |    |    | 10   |    |    |    |  |